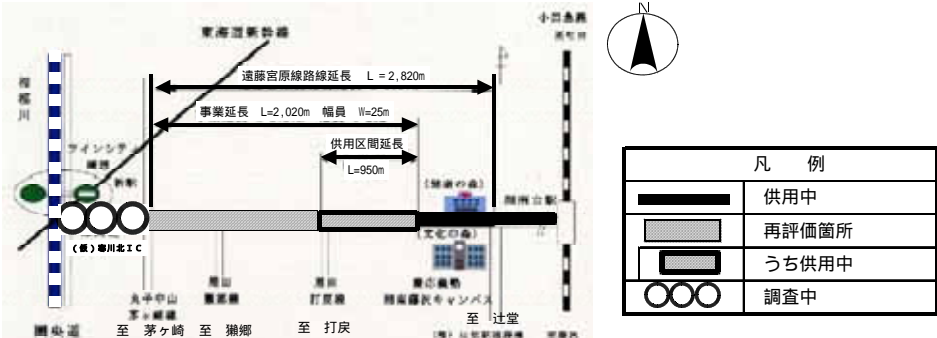


再評価結果（平成18年度事業継続箇所）

担当課：道路部地域道路課

担当課長名：吉田 雅文

事業名 ふじさわ えんどうみやはらせん 藤沢市道遠藤宮原線		事業区分 地方道	事業主体 藤沢市
起終点 自：神奈川県藤沢市遠藤 至：神奈川県藤沢市獺郷		延長 2.02km	
事業概要 市道遠藤宮原線は、藤沢市の都市拠点である「湘南台」・「健康と文化の森」と新幹線新駅、ツインシティとのアクセスをはじめ「さがみ縦貫道路」（圏央道）を連絡する広域都市圏を結ぶ重要路線である。また、路線には、慶應義塾大学や高度医療施設の開設も計画され、平成13年には慶應義塾大学看護医療学部が開設し、医療拠点形成に向けた取り組みが展開されている。本事業は、都市拠点間の連絡強化、本市北部方面の渋滞緩和、周辺地域の活性化を目的とした慶應大学周辺～県道45号（丸子中山茅ヶ崎）の区間延長2.02kmの道路新設事業である。			
H8年度事業化		H8年度用地着手	
全体事業費		43億円	事業進捗率
計画交通量		18,500台/日	
費用対効果分析結果		総費用 ：(残事業)/(事業全体) 14/47億円 (事業費：12/45億円 維持管理費：2/2億円)	総便益 ：(残事業)/(事業全体) 109/109億円 (走行時間短縮便益：82/82億円 走行費用減少便益：25/25億円 交通事故減少便益：2/2億円)
B/C ： (事業全体) 2.3 (残事業) 7.8		基準年 ： 平成17年	
事業の効果等 ・国土・地域ネットワークの構築（湘南台、寒川町の日常活動圏へのアクセス向上が見込まれる） ・個性ある地域の形成（ツインシティ構想、さがみ縦貫道路（圏央道）を支援する） 他14項目に該当			
関係する地方公共団体等の意見 遠藤宮原線は、さがみ縦貫道路、ツインシティ（構想）へのアクセス道路であり、藤沢、寒川の都市拠点間の連絡強化に重要な役割を果たすことから、寒川町とともに神奈川県に延伸区間の建設促進を要望している。			
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 周辺地域では慶應大学看護医療学部が新たに開設されるとともに土地区画整理事業や本路線に接続する幹線道路の整備が進められ、広域的な道路ネットワークの形成が進んでいる。広域的なプロジェクトであるさがみ縦貫道路、新幹線新駅、ツインシティ構想との連携により本地域の発展が期待されている。			
事業の進捗状況、残事業の内容等 事業は工区を設定し段階的に進め、平成15年には起点から950mの区間を供用開始している。平成17年3月には新規のバス路線が開通している。現在、用地取得率も約7割に達している。			
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 事業当初はルート設定等の地元調整に時間を要したが、地権者等で構成される「対策委員会」を設け、協力体制を確立した。平成18年度一部暫定供用開始、平成22年には全線供用開始を予定している。			
施設の構造や工法の変更等 工事施工にあたっては、再生採石、既製品を活用しコスト縮減に努めるとともに、整備効果の早期発現を図るように事業を推進する。			
対応方針		事業継続	
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。			
事業概要図			



総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。

